

超短焦点プロジェクタを用いた形状連想ジグソーパズル

キーワード: 超短焦点プロジェクタ, ジグソーパズル, 幼児教育

研究概要

色彩と形状の理解を促進するための幼児向け教材として、ブロック遊びや塗り絵などが利用されている。その中でも、ジグソーパズルは1枚の絵を複数のピースに分割し、再び組み立てることで色彩の識別や図形の認識などの能力を養うことができる。しかし、ピースを紛失、誤飲するといった危険性がある。ところで、壁や机上に映像を投影することができる超短焦点プロジェクタがある。これらのプロジェクタは映像のタッチ操作などが可能であるため、誰でも簡単に利用することができる。そこで、本研究では超短焦点プロジェクタを用いた形状連想ジグソーパズルを提案する。本システムは被写体の輪郭をもとにパズルを組み立てるため、形状連想能力の向上を実現する。

